

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 3 年 9 月 3 日 報告者：片井 明子

行事種別	研究会	行事番号	210003062
開催日	令和 3 年 8 月 14 日(土)～8 月 27 日 (金)		
時 間	開 始	—	終 了
場 所	Web 配信 (Web 録画)		
テーマ	最近の輸血トピックス		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (e-learning に回答した会員にのみ付与)		
司 会	名古屋市立大学病院 南里 隆憲		
講 師	講 演 1 : 検査技師の視点から見る輸血副反応—TRALI 判定基準変更を踏まえて 名古屋市立大学病院 小池 史泰 講 演 2 : 当院における COVID-19 に関わる経験 ～輸血関連業務や輸血使用量の変化～ 愛知医科大学病院 片井 明子 講 演 3 : 質問コーナー「あなたの質問に答えます！」 社会医療法人宏潤会 大同病院 稲生 千絵美		
内 容	新型コロナウイルス感染症蔓延のため研究会の現地開催ができない状況のなか、何が Web オンデマンドでできるか？班の中で検討し、テーマは「最近の輸血トピックス」としました。講演 1 では 2021 年度より新基準になった TRALI の基準について取り上げ、輸血副反応への臨床検査技師の対応についても講演内容に盛り込みました。講演 2 では全世界で猛威を振るっている COVID-19 に関する話題で、輸血療法や輸血使用量の変化についての内容を取り上げました。また現地開催ではその場で気軽に日頃の輸血検査や輸血療法への疑問について相談できたことが、コロナ禍でできなくなりましたので、講演 3 では事前に質問を募り、受け付けた質問についてお答えする講演内容としました。 Web 開催となり、全国から参加いただきました。明日からの業務に役立つ内容を輸血検査・輸血療法に関わる技師と共有することができ、有意義な研究会となりました。申し込みは 277 名で 193 名のレポート提出がありました。		
参加者	総数：197 名(会員 134 名、県外会員 59 名、非会員 0 名、賛助会員 4 名、学生 0 名)		
共催、後援など	特になし		